

食育だより



令和5年(2023年)12月 豊中市立庄内さくら学園 栄養教諭 高木智子

3年生 オンライン 走井学校給食センター見学



12月18・19日に3年生がオンラインで走井学校給食センターを見学しました。給食センターでは、毎年市内小学校から見学を受け入れています。庄内さくら学園からも走井学校給食センターの見学を実施しましたが、今回はオンラインでセンター見学を実施しました。オンラインでの給食センター見学は、今回初めての試みでした。普段は間近で見ることのできない調理場をカメラで繋いでもらい、ランチルームの

テレビで観ました。事前に子ども達へ給食センターで見てみたいところを質問したところ、『冷蔵庫・冷凍庫・フライを揚げる機械』や『給食室に置いてある物』『給食を作っているところ』などの意見がでました。それらを中心に、近くまでカメラに寄ってもらい皆で確認することができました。

子ども達の質問では、『牛乳はどこから来ている?』『ごはんはどれくらい炊いているのか?』『ジャムは作っているのか?』などがあり、給食で出ているものを全て給食センターで作っているのではないことを学ぶことができました。見学を終え、“わかったことや思ったこと”を子ども達に書いてもらいましたが、『みんなが安心安全に食べられるように、いろいろな工夫をしていることがわかった』『気持ちを込めて作られている』『思っていたよりも給食センターは広い』など、いろいろな意見がありました。想像していたことと違うことも多かったようで、給食についてより知ってもらうよい機会になりました。



給食の主食について



豊中市の給食パン業者が、大阪府で最優秀賞を受賞しました!

小学校・中学校の給食のパンは、豊中市に工場がある“吉田株式会社”から納品されています。その吉田株式会社が、大阪府内17工場のなかから、大阪府学校給食用パン品質審査会で最優秀賞を受賞しました。

12月から小学校給食のごはんは、豊中市産の新米を使用しています!

地産地消の取り組みの一つとして、小学校給食では毎年12月から豊中市でとれた新米を使用しています。豊中市産の新米がなくなり次第、能勢産の新米を使用する予定です。

裏面に続きます



1・2年生さつまいも、野菜栽培・収穫

1・2年生の教室の前に学級園があります。1・2年生ではさつまいもを栽培し、収穫しました。収穫後は、1年生は図工でさつまいものスケッチをし、最後は1・2年生合同で“いももち”を作って食べました。



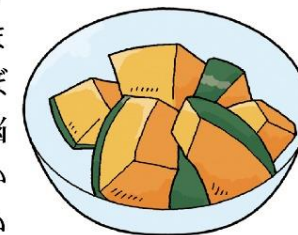
子ども達全員で力を合わせて育て、また用務員の吉富さんと平野さんが良い土を準備してくださったこともあり、たくさんの大きなさつまいもが収穫できました。用務員さんには、各クラスで作った“いももち”をプレゼントし、感謝の気持ちを伝えました。



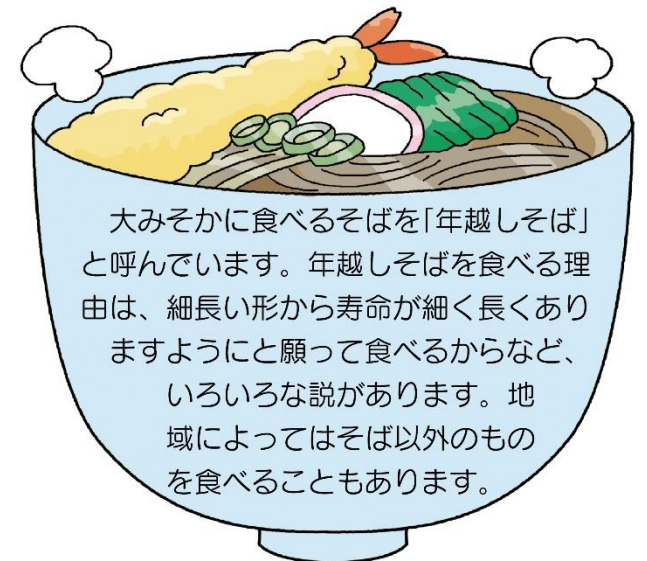
今年ももう残りわずかですね。寒い時季や空気が乾燥している時には、かぜやインフルエンザなどにかかりやすくなります。かぜなどを予防するため、生活習慣をととのえて、冬休みを元気に過ごしてください。

◇◇◇ 冬至って何？ ◇◇◇

冬至とは、1年の中でもっとも昼が短く、夜が長い日です。次第に短くなっていく日が、冬至をすぎると長くなることから、「太陽がよみがえる日」と考えられていました。冬至にかぼちゃを食べたりゆず湯に入ったりする風習があります。冬至にかぼちゃを食べると脳の血管の病気やかぜを予防するといわれています。



大みそかはそばで年越し



大みそかに食べるそばを「年越しそば」と呼んでいます。年越しそばを食べる理由は、細長い形から寿命が細く長くありますようにと願って食べるからなど、いろいろな説があります。地域によってはそば以外のものを食べることもあります。

2023年の冬至は、12月22日(金)です!